11月区代表・交流会まとめ

テーマ:どんな入所対策をしていますか？

●区連協としての合同入所説明会

・9/11 に区役所で開催。予想以上の 61 世帯が来場（北区）

・11/6 に区役所で開催。各ブースを設け人数制限をし個々に説明。（名東区）

・区役所を借りて年２回開催（中村区）

・３年ぶりに開催する。定員ギリギリのところもあり、個々の詳細説明はやめ寸劇などでが学童保育を知ってもらう。（中川区）

・感染対策としてブースの配置に配慮

※「開いていない」との発言が２区

●各学童保育所での入所説明会／体験会

【時期や頻度】・例年各学童、年２回程度開催。

・児童が少ないところは７月からアピール。役員だけでなく、全父母がどこかの説明会に出てもらう。キャンプの動画などでもアピール。よくない部分もあえて話す。年間にチラシを 1000 枚程度配布。

・就学時健診の日に合わせて開催（２区）

・土曜日に体験入所を２日間。9:30－12:00。説明会含め計３日。

【説明内容や工夫】・説明はしおりや動画。父母会の活用や保育内容、１日の内容がほとんど。

・動画で説明し指導員が話す。

・ＤＶＤ上映。

・指導員の説明は短くし、保護者が説明

・基本ルール、運営での父母の役割、保育料など説明し、イベントの動画を見てもらう。

・Ｑ＆Ａつくる。１日の生活や年間計画を示す。

・保護者運営を知らず入所しトラブルになることがある。「保護者運営であり大変」と最初から説明する。

・指導員より父母の説明に多く時間を取る。年間スケジュールや保育料、父母会への参加などを説明。シオリや手引きに沿って説明。

・運営と保育全般、運営体制、ＤＶＤ（１日の保育の流れなど）を見てもらう。

・資料を配付、動画や写真で紹介。質疑応答は、在所父母にインタビューし生の声を聞く。

・サクラが質問し、質問しやすい雰囲気作る。

・冊子を作成し配布（学童の過ごし方、年間スケジュール、父母会についてなど）、夏休み等長期休暇の過ごし方、１年間の行事などを案内。

【説明を受けに来た世帯の子への対応】

・学童保育の子が一緒に遊ぶ。

・プラパンやビーズづくり。

・コロナ前は子ども達の１日体験入所をしていた。今は１、２時間。

・説明中は子どもを指導員が見る。

・プレハブが２棟あり１棟で子どもに対応。

●就学時健診時に小学校で

・時間をもらい学童のチラシを配布。

・指導員と保護者が学校で５-10 分もらい説明。直後の土曜日に説明会。

●感染対策　※手洗い、消毒、マスク、換気は前提。

・事前予約。WEB でｎ受け付けも。（報告多数あり）

・小学校の体育館を借りてスペース確保。

・参加者を絞る。大半が 30 分５組までで入れ替え

・ZOOM などリモートで。あるいは併用。

・人数制限・分散、対面で多数にならないように。
（参加は親１人＋子ども１人、３世帯ずつ予約、２部制、できるだけ保護者は１人、同時間２組まで）なども。

・おやつの試食会はやめている。

・資料渡すだけ、あとは電話で質問に答える。

・予約なしで一斉に説明

・駐車場に受け付け、屋外にスクリーンを設置して生活を見てもらう

・チャット。

●その他

・指導員が保育園でコマやけん玉を披露し、保護者にチラシを配る。「学童が楽しい」というイメージを持ってもらう。

・「５分でわかる学童保育」を You Tube にアップ。

・「広報なごや」に説明会の告知を掲載